

Nanocellulose Symposium 2013・第220回生存圏シンポジウム・第9回バイオ材料プロジェクト

『生物が創り出すナノ繊維』

～セルロースナノファイバー 広がる用途開発～

セルロースナノファイバー（CNF）は生物が造り出すナノ繊維です。
次世代の大型産業素材として製造と利活用に関する研究が世界各国で活発化
しています。近年では国際標準化（ISO）に向けた議論も行われています。

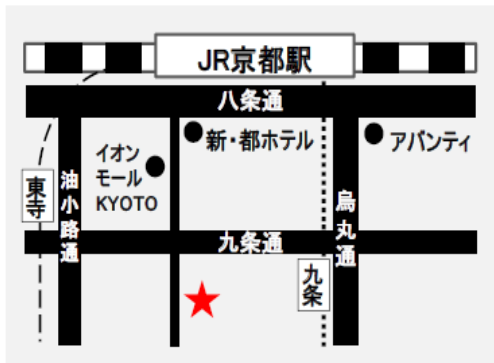
今回のシンポジウムでは、CNF表面化学変性に関する基調講演、様々な産業
分野で進む用途開発、自動車用部材に関する産官学共同開発プロジェクトの
成果発表を行います。ぜひご参加ください。

日時：平成25年 **2月27日**（水）

13時00分～18時00分（受付開始12時15分）

会場：京都テルサ テルサホール

（京都市南区東九条下殿田町70番地 京都府民総合交流プラザ内）
JR京都駅・八条口西口より南へ徒歩15分



詳細：裏面参照



問合せ先：

(財)京都高度技術研究所 産学連携事業部 連携支援グループ 内海・遠藤

E-mail : biocity@astem.or.jp 電話:075-315-6736

Nanocellulose Symposium 2013

- ・定員 300名(先着順・定員になり次第締め切ります)
- ・対象 どなたでも参加できますが、専門的な内容になります。
- ・参加費 無料
- ・セルロースナノファイバー(ナノセルロース材料)について詳しくお知りになりたい方は
京大生存圏研究所Webをご覧ください: <http://vm.rish.kyoto-u.ac.jp/W/LABM/cnf>

13:00-13:05 開会挨拶

13:05-13:45 基調講演

- 「ナノセルロースの化学変性戦略」 京都大学 生存圏研究所 中坪文明氏

13:45-15:35 第1部 研究成果発表

- 「プリンテッド・エレクトロニクス」 大阪大学 産業科学研究所 能木雅也氏
- 「環境・人体調和型のナノファイバー BiNFi-s」 (株) スギノマシン 新規事業開発本部 小倉孝太氏
- 「高強度ナノファイバーゲル」 京都大学 生存圏研究所 阿部賢太郎氏
- 「セルロースナノファイバー技術を利用したソフトクリームの開発」 日世(株) プレスト生産部 大西有香氏
- 「ガスバリアフィルムへの応用」 花王(株) 加工・プロセス開発研究所 向井健太氏

15:35-15:50 休憩

15:50-17:50 第2部 研究成果発表

*本セッションの研究開発は(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)から
「グリーン・サステナブルケミカルプロセス基盤技術開発」事業の一環として委託を受け実施いたしました。

- 「研究プロジェクト紹介」 京都大学 生存圏研究所 矢野浩之氏
- 「変性セルロースナノファイバーによるポリオレフィン樹脂の補強①」
王子ホールディングス(株) 研究開発本部 五十嵐優子氏
- 「変性セルロースナノファイバーによるポリオレフィン樹脂の補強②」
星光PMC(株) 新規開発本部 片岡弘匡氏
- 「ポリオレフィン補強用高分子分散剤」 京都大学 化学研究所 神原圭太氏
- 「変性セルロースナノファイバーによるポリアセタールの補強」
三菱エンジニアリングプラスチック(株) 第3事業本部 永井雅之氏
- 「変性セルロースナノファイバー強化樹脂材料の発泡成形」 京都市産業技術研究所 伊藤彰浩氏
- 「変性セルロースナノファイバー強化樹脂の微細構造」 三菱化学(株) 開発技術研究所 佐野博成氏

17:50-18:00 閉会挨拶

■参加申込方法:

下記Web フォームからお申込下さい。

<http://www.astem.or.jp/biocity/wn/20130227.html>

問合せ先:

(財)京都高度技術研究所 産学連携事業部 連携支援グループ 内海・遠藤

E-mail: biocity@astem.or.jp 電話: 075-315-6736

主催: 京大生存圏研究所、京都市産業技術研究所、(財)京都高度技術研究所、
京都大学化学研究所共同利用・共同研究拠点

後援: (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、経済産業省近畿経済産業局、
(一財)バイオインダストリー協会、(公社)新化学技術推進協会、(一社)日本有機資源協会、
(社)西日本プラスチック製品工業協会(予定含む)